

頑張れ九里!

No.14
2001.10

九里学園高等学校部活動後援会報

陸上競技部 25年連続インターハイ出場



平成13年度 全国高等学校総合体育大会

平成13年8月1日～20日 熊本県

●発行／九里学園高等学校部活動後援会 米沢市門東町1-1-72
☎ (0238) 22-0091 FAX (0238) 22-0092



次代へ翔け九里生



部活動後援会会長

須貝 昇

国際的にも経済低迷の昨今、追い討ちをかけるかのように米国テロ事件がおこり、様々なマスメディアを賑わしております。広く視野を広げてみれば、暗く悲しいニュースばかりであります。が、当地米沢では巨大な博物館も完成し、華々しく鷹山公生誕二百五十年祭、鷹山フェスティバルが開催されております。そして当学園でも百周年を迎えます。創設者九里とみ先生の礼と譲を校是とした先見性ある教育理念を掲げつつ、幾多の卒業生を送り出し百年が経過しました。先日の創立記念式典では記念植樹も行われ、これからの生徒たちにとりまして、これらの木々が大きく育つ姿を見るたびに在学中の思い出がこみ上げてくることでしょう。

そのような良き思い出にもつながる生徒たちの活躍ぶりでありますが、本年も文化、体育両面で学園生らしい素晴らしい成果をあげております。中でも、県高校総合大会で陸上競技部が総合優勝し、次の東北大会では二〇〇Mで堀江真由さん、四〇〇MHで須藤美幸さん、一五〇〇Mで小杉奈美さん、砲丸投げで高橋ちひろさん、四〇〇Mリレーでは酒井珠美さん、山内愛さん、横野友紀さん、堀江真由さん、古川裕子さん、後藤美佳さんのメンバーで入賞を果たし、堂々の二十五年連続のインターハイ出場を勝ち取りました。また、卓球では県高校総体シングルスで高村美和子さんが優勝、遠藤美紀さんが三位に入賞し、バドミントンでもシングルスで山口美百子さんが二位に入賞し熊本インターハイ出場を決めました。硬式野球部においても春季東北地区大会県予選会への初出場を果たすなど活発に活動しております。生徒たちの努力に賛美を送ると共に指導者の方々熱意に感謝いたします。

これらの活動の礎となっており、また、保護者の皆様をはじめとした後援者皆様の暖かい御理解、ご支援の陰でもあります。今後共生徒たちが大いに活躍できる環境作りの為、変わらぬご支援ご協力を心よりお願い申し上げます。

援者皆様の暖かい御理解、ご支援の陰でもあります。今後共生徒たちが大いに活躍できる環境作りの為、変わら

ぬご支援ご協力を心よりお願い申し上げます。



更なる飛躍を期待して



学校長

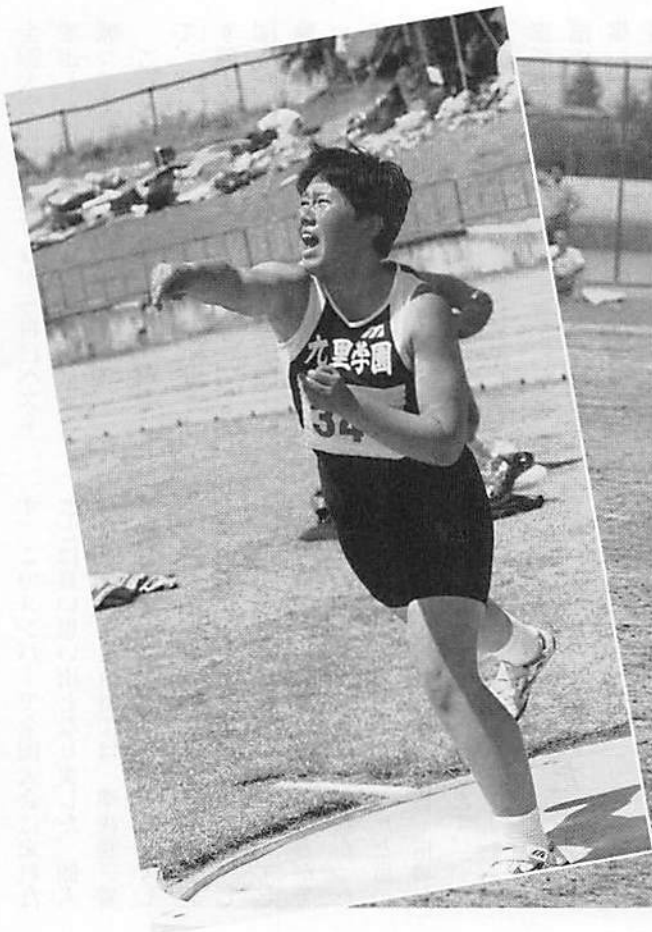
九里 廣志

ペンキ描きの「中村勘九郎特別公演」
「全国座長大会」等の大看板の飾られた入り口、黒光りした太い柱、畳敷きの升（マス）席の薄い座布団に座ってあたりを見回すと、自分がまるでタイムスリップして、別の時代に移ってしまったような錯覚に陥る。本校書道部のメンバーが出演した吟詠剣詩舞部門の会場・福岡県飯塚市にある「嘉穂劇場」での第一印象である。

一万七千名の全国の仲間が集まり、二十部門で日頃の練習や研究の成果を発表しあった「全国高等学校総合文化祭」。八月の九州の暑さ以上の熱気であった。本校書道部の佐藤ゆかり、樋口愛、渡部知里、米沢工業の吟詠剣詩舞部のメンバーとともに「構成吟」を披露した。テーマは『上杉鷹山公と杉藩』。ナレーションに導かれて、細井平洲の『親を夢む』の文字を堂々と書き上げる。会場からは大きな拍手。舞台を下りる三名の姿から、ホッと

た表情が伺える。米沢工業高校のメンバーたちも、素晴らしい剣舞や詩吟を披露してくれた。山形県代表として見事な発表であった。

片や熊本市で行われた陸上競技（堀江真由・小杉奈美・須藤美幸・高橋ちひろ・酒井珠美・山内愛・横野友紀）たちが、熱い競技場で、懸命の活躍をみせてくれた。決勝までは残れなかったが、充分力を発揮してくれたと思う。熱気のももる体育館で行われた、卓球（高村美知子・遠藤美紀）、八代市でのバドミントン（山口美百子）なども、よく頑張った。特に山口は一年生でもあり今後に期待しよう。例年以上に多種目・多人数のインターハイ出場であった。残念ながら上位入賞はできなかったものの、各々よく健闘してくれたと思う。来年は是非男子生徒の全国大会出場に期待したいものである。



インターハイ出場

平成十三年

八月一日〜十日

陸上競技部

インターハイ出場の

報告と課題



顧問

本田 米子

八月一日から八月六日まで熊本県で開催されたインターハイに、二〇〇M（堀江真由・三年）、一五〇〇M（小杉奈美・三年）、四〇〇MH（須藤美幸・三年）、砲丸投（高橋ちひろ・三年）、四×一〇〇MR（酒井珠美・二年）、山内愛・二年、横野友紀・二年、堀江真由・三年）の五種目に出場しました。

陸上競技の場合は県で六位までが東北大に出場でき、さらに東北六県で戦い、上位六位までがインターハイに出場できるという厳しい難関を突破して、五種目のインターハイ出場権を獲得したことは大変価値のある出場だと思っております。しかし、今年の場合には東北大会の中でも下位入賞が多かったこともあり、インターハイに出場することが精一杯で、全国で入賞するのは大変難しく難しい状況でしたが、希望

を持って個人の可能性を最大限に発揮できるようにと、インターハイ前には他校（県外）四校と合同合宿して強化したところ、二〇〇Mに出場した堀江真由が調子上げて入賞を狙えるほどの力を身に付け、手応えを感じるほどに仕上がりました。

現地入りしてからも調子が良く、試合当日は念入りにアップし、準備も万全にして臨みました。

予選から記録も自己ベストを出し、一着で通過するなどまずまずのスタートをきりました。全体の六位の成績で次の準決勝に駒を進めました。準決勝では予想以上に後半伸びず、本来の走りができないまま、三着でゴール。あと一歩で決勝進出はなりませんでしたが。

九里陸上部は今年で二十五年連続インターハイ出場を果たし、過去において各種全国大会では優勝や入賞をしているチームでもあり、今年の戦力はダウンしているとは分かっていながらも、目標は高く「やればできる」という部のモットーを実践すべく、今年も入賞を密かに狙っておりまして。しかし唯一入賞可能な種目を逃してしまい、本人はもとより指導者としても勝たせられなかった悔しさが残る大会でした。その他の種目は予選敗退でしたが、

全国大会出場でありながら自己ベストを出した選手もおり、大舞台で堂々と戦ってくれたことが救いでした。

これからの九里陸上部の課題として、部員数も減ってきており、まずまず戦力ダウンも考えられます。また、部員たちのほとんどが中学時の陸上経験者でないうえに、たとえ経験者であったとしても県レベルに達しない、ど素人集団です。その部員たちを県レベルに引き上げ、東北大会やインターハイに出場させられるのも至難の業といえますが、指導者の喜びでもあります。部活動離れが多くなってきた今、部の士気を高めるためにも部員数を確保し、一人一人のやる気を目覚めさせ、様々な活動を通して人間育成を願い、陸上のすばらしさを伝えながら課題を克服し、来年二十六年目になるインターハイ出場を実現していきたいと思っています。

インターハイを終えて



堀江 真由

今回、二百Mと四百Mリレーで出場してきました。四百Mリレーでは四人心を一つにして、最高のものを出すことができました。私以外のメンバーは二年生で、来年も同じメンバーなのでまたの全国大会出場を期待していま

す。このメンバーで全国大会に来れたことは良い思い出となりました。個人種目となった二百Mでは、準決勝三着で惜しくも決勝には残れませんでした。その日の体調は万全で予選も自己ベストを出し一着で通過しました。しかし準決勝ではメンバーにビビってしまい、自分らしい動きをすることができませんでした。入賞はできなかったけどベストが出たのでよかったと思っております。応援してくれた皆、指導して下さった先生方に感謝します。

インターハイで 学んだこと



小杉 奈美

私は一五〇〇Mでインターハイに出場しました。目標は、自己ベストを出して決勝に残ることでしたが、初の全国大会で自分の力を十分出し切ることができずに終わってしまいました。まだまだ体力・精神面とともに力不足だったと実感しました。でも、この大きな舞台に立てたことで、卒業後も陸上を続ける私にとって大きな自信になりました。また、この大会に出場できたのは、米子先生、コーチ、家族、友達のおかげです。ありがとうございました。

インターハイの感想



須藤 美幸

四〇〇Mハードルでインターハイに出場することができました。入学当時から目標にしていたので、それに向かって毎日活動してとても充実した生活を送ることができました。インターハイでは全国のレベルの高さを知り、肌で感じることができました。とても良い経験をさせていただきました。米子先生、コーチ、先生方、家族には本当に感謝しています。本当にありがとうございました。今まで学んだ事を忘れず、これから頑張っていきたいと思いません。

インターハイを終えて



高橋 ちひろ

私はこの熊本インターハイが初めて自分の力でつかんだ全国大会でした。本番では良い結果は残せなかったものの、全国大会というものがどういうものか、そして自分の欠点を身をもって知りました。三投の中でどれだけ自分の力を出せるかということの大切さも

分かりました。それにこの大会で仲間が競技中に大きな声で応援してくれたこともとても印象に残っています。高三の夏が高校生活の中で一番充実していたと思います。

インターハイを終えて これからのスタート



山内 愛

猛暑の中で行われたインターハイ。四百メートルリレーで出場した私は、大舞台でのチーム新となる四十八秒台を目指して取り組んでいました。大舞台を踏みしめながら走った予



選。バトンはミスもなく確実に渡り、四十八秒台のチーム新を出し今までの練習の成果が一番発揮された時でした。

まさに「努力に勝る天才はなし」という言葉があるように、日頃の練習の積み重ねがあるからこそ、大舞台で活躍できたのだと思います。

来年も九里陸上部の伝統を壊すことなく、新チーム一丸となって取り組んでいきます。

インターハイ



酒井 珠美

私は四〇〇MRでインターハイに出場してきました。前の日の練習では、バトンがわたらなかつたり不安もありましたが、当日はチーム新を出すことができました。予選落ちではありませんが、とても良い経験ができました。このインターハイでたくさんの方を経験し、学んできました。全国でトップの人の走りも見れたし、仲間の大切さも再確認できました。これからは、私達の学年が中心になって部活を引っばっていく番です。インターハイで学んだことを活かして、来年もインターハイに行けるようにがんばりたいです。

I・Hへ行つての感想



横野 友紀

私は今年の八月、熊本で行なわれたI・Hに出場しました。四〇〇MRと四人で力をあわせて走る種目だったので緊張しました。でもそのI・Hでチーム新、目標だった四十八秒台に突入したし、自分の役割もちゃんとできたと思うので悔いはありません。I・Hに行つて思ったこと、I・Hで勉強になったことはこれからの生活や生きていくうえで自分にプラスになることだと思つたので、このことを大切に残りの高校生活を過ごしたいと思つています。



バドミントン部

インターハイに参加して

顧問
神尾 慶蔵

今年の熊本インターハイに、本校から個人戦女子シングルスに山口美百子選手が出場した。本校のバドミントン部としては初めての出場であり、私もわくわくしながら試合に向かった。

山口選手は一年生でもあるので全国大会という大きな大会で、自分の力を出せるゲームをし、初戦を勝ち抜くことに目標をおいた。対戦相手は高知県安芸高校三年の濱渦選手であった。結果は二対一で負けてしまったが、前日までの練習の成果を充分に発揮することが出来たと思う。

大会期間中は大変暑く昼には蝉も鳴くのを楽しんでいる。窓を締め切った試合。誠に暑かった。

出発の時



山口 美百子

私は今回インターハイに出場しました。私の目標はとにかく一勝することでした。今まで全国大会に出場すること

とはありましたが、全国で勝ったことは一度もありませんでした。おいしい試合をしたことはいくらもありました。勝つことはできませんでした。なのでインターハイで「全国初の一勝」をしたかったと思いました。でも、今回も勝つことができませんでした。試合のとき、私はいつも以上のがんばりを見せたのですが全国は甘くありませんでした。でも、あと二年あるので来年は県一位でインターハイに出場し、とにかく一勝したいと思います。そのためには毎日の練習が大事になってくると思うので、自分が一番弱いスピードをつけるために毎日の反復練習をがんばりたいと思います。

卓球部

技術よりも精神力



遠藤 美紀

インターハイという舞台に出場してみても、その迫力に圧倒されました。見ているだけでもドキドキするのに自分がこの会場で試合するということが信

じられませんでした。試合をしてみても自分の力が思うようには出せなかった悔しさもあつたし、今までの試合とは全然違う緊張感がありました。でも自分の目標としていたインターハイに個人で出場することができて、苦しい毎日の活動だったけどがんばって良かったと思うことができました。全国の沢山の人の試合を見て技術よりも精神力が最も大切だと改めて感じ、とても勉強になりました。インターハイに出場できたことは私にとって高校生活最高の思い出です。先生、チームの仲間にも本当に感謝しています。

貴重な経験



高村 美知子

今年の夏、熊本で行われたインターハイに出場してきました。私は個人で出場しましたが、実際試合の場に立ってみると、極度の緊張やプレッシャーで頭の中が真っ白になり、自分の持っている全てを発揮できずに終わってしまいました。改めて自分の精神面の弱さを感じさせられ、後悔が残りました。でも、全国から集まった選手達の熱いプレーを見て、インターハイにかける強い想いを感じ、今までにない感動を味わうことができました。そんなインターハイを高校最後の夏に経験できた

ことは、私にとって本当に大切な思い出となりました。三年間支えて下さった方々に心から感謝しています。来年はぜひ後輩達に経験してほしいと思います。



第25回全国高等学校総合文化祭

書道部

八月三日から八月七日、福岡県を会場に全国高文祭が開催された。

今年も米沢工業高校吟詠詩舞部と県代表として、福岡県で行われる全国高等学校総合文化祭に出場してきました。

出場した三人の感想を寄せていただきました。

決して忘れない思い出



佐藤 ゆかり

私は吟詠剣詩舞部門書道吟での全国大会は、今回で二回目の出場でした。

昨年は、静岡大会、そして今年は福岡大会でした。二回も出場できた事を大変嬉しく思います。全国大会に立つまでは、毎日書く事が嫌になることもありましたが、また、私はもう一つ、ナレーションという大切な役を任ざれていました。それも正直言うと、過負担でした。その不安を取り除くには練習以外ありませんでした。吟に合わせて

書を書き、台本を読む毎日が続ききました。会場は飯塚市の嘉穂劇場。築七十年の伝統ある芝居小屋です。構成吟が終って花道を引きあげる時、枚数から大きな拍手をもらいました。

感動しました。校長先生が暑いところ、遠い福岡まで来て下さったこともありがたいことでした。このような大きな舞台で発表できた事、決して忘れません。そして、先生方ありがとうございました。

最高の思い出



渡部 知里

私は、八月五日から七日に行われた、全国高校総合文化祭に参加してきました。初めての全国大会で、とても緊張したけれど、吟者と書士三人が息の合った発表をすることができたので良かったです。書いている途中に会場にいた人達から、たくさんの拍手をいただくことができ、とてもうれしかったです。作品の方は、今まで書いてきた中で一番良く書くことができ、厳しい練

習も忘れ、今はほっとしています。私は最初、ちゃんと書けるか不安で大会に出るまで心配でしたが今では、この大会に出て良かったと思います。ありがとうございました。

厳しい練習を励んで



樋口 愛

今回、私は全国高文祭の書道吟の書士として参加してきました。私にとって書道吟は初めてだったので、とても

不安がありました。三人で一つの作品なので、字の大きさやバランスなど三人で注意しあいながら、毎日、厳しい練習に励んでいました。その練習の成果が本番でだせましたし、自分にとって今までよりもいい作品ができたのでよかったです。

また、他の人にはなかなかできない経験ができてよかったです。吟の音調に合わせ、しかも書士三人のいきのあった作品ができたので、とてもうれいす。今回の経験を忘れず今後の部活動にいかしていきたいと思ひます。本当にいい経験ができてよかったです。ありがとうございました。



置賜地区春季総合 体育大会

女子テニス部

女子団体 1位

第1試合 九里 2対0 荒砥

第2試合 九里 2対0 米中央

〈出場メンバー〉

情野 朋美(1年 米5)

佐藤 まや(3年 米2)

安部 園子(3年 米5)

高橋 宏美(3年 高4)

女子シングルス

1位 情野 朋美(1年 米5)

2位 佐藤 まや(3年 米2)

3位 安部 園子(3年 米5)

3位 高橋 宏美(3年 高4)

女子ダブルス

1位 情野 朋美(1年 米5)

2位 佐藤 まや(3年 米2)

3位 安部 園子(3年 米5)

3位 高橋 宏美(3年 高4)

南 加藤 礼子(2年 川1)

尚美(2年 米2)

男子テニス部

男子団体 2位

第1試合 九里 2対0 長工

第2試合 九里 0対2 米中央

〈出場メンバー〉

遠藤 慎介(2年 米3)

渡部 裕史(2年 米2)

土屋 正輝(2年 米1)

青柳 侑(2年 米1)

宇野 一穂(2年 米1)

青木 智也(2年 米2)

須貝 広大(1年 米1)

男子シングルス
第1位 齋藤 靖(1年 米4)
鈴木 雄大(1年 米2)

第2位 遠藤 慎介(2年 米3)

第3位 渡部 裕史(2年 米2)

第3位 土屋 正輝(2年 米1)

男子ダブルス

第1位 遠藤 慎介(2年 米3)

第2位 渡部 裕史(2年 米2)

第3位 土屋 正輝(2年 米1)

第3位 青木 智也(2年 米2)

青柳 侑(2年 米1)

宇野 一穂(2年 米1)

バドミントン部

男子団体

2回戦 九里 3対0 荒砥

準決勝 九里 0対3 米工

3位決定戦 九里 0対3 長井

〈出場メンバー〉

稲葉(3年・米2) 足立(3年・米4)

中村(3年・米1) 新藤(3年・宮内)

手塚(2年・長北) 菊地(2年・長北)

女子団体

1回戦 九里 2対3 米沢東

〈出場メンバー〉

東海枝(3年・長南) 江部(3年・米5)

鹿間(2年・米2) 鈴木(2年・米6)

山口(1年・米3)

女子シングルス

優勝

山口美百子(1年 米3)

県大会出場

鹿間 幸恵(2年 米2)

女子ダブルス

優勝

鹿間 幸恵(2年 米2)

山口美百子(1年 米3)

水泳部

女子

50m 自由形

第1位 笹原雪華(1年 米4)

第2位 板垣ゆき(2年 米2)

100m 自由形

第1位 笹原雪華(1年 米4)

第2位 板垣ゆき(2年 米2)

男子

50m 自由形

第3位 鈴木篤史(3年 米2)

女子総合 37点 第3位

サッカー部

1回戦 九里 3対0 米沢東

2回戦 九里 0対2 長井

〈出場メンバー〉

佐藤雅俊(3年・米2) 志賀勇作(3年・米5)

白木亮太(3年・米1) 山田瞬(3年・米5)

猪口朋彦(3年・米2) 小林陽太(3年・米2)

間山哲翁(3年・米5) 高橋正樹(2年・南原)

齋藤雅由(2年・米1) 工藤健一郎(2年・米6)

佐藤祐治(2年・米1) 本間和仁(1年・米2)

落合圭祐(1年・米4) 江畑智也(1年・米4)

佐々木剛(1年・米4) 豊田仁(1年・米5)

鈴木翔太(1年・米2) 佐藤宏樹(1年・南原)

安部駿佑(1年・南原) 桐生貴史(1年・米3)

男子バスケットボール部

2回戦 九里 63対92 興譲館

〈出場メンバー〉

工藤基之(3年・米3) 鈴木靖広(3年・米2)

渡辺孝昭(3年・米3) 安部達也(3年・米3)

徳永貴(3年・川1) 島津和志(3年・高4)

島貫伸幸(3年・米3) 渡部友希(2年・上郷)

安部雄基(1年・沖郷) 鈴木健司(2年・米2)

加藤真和(1年・米3) 野村俊輔(1年・米7)

我妻徹朗(1年・米3) 奥山一春(1年・白鷹東)

女子バスケットボール部

準優勝

1回戦 九里 107対56 南陽

準決勝 九里 71対59 米沢東

決勝 九里 59対64 米商

〈出場メンバー〉

長澤美香子(3年・米4) 鈴木亜沙美(3年・高4)

三ヶ山和加奈(3年・赤湯) 加藤恵美(3年・吉野)

吉田頼子(3年・米2) 高橋春菜(3年・赤湯)

小松真理(3年・中川) 関千恵子(3年・赤湯)

佐々木美幸(2年・漆山) 清水美智子(2年・赤湯)

長島亜衣(2年・赤湯) 竹田愛(1年・高1)

我妻美幸(1年・高4) 江口あゆみ(1年・吉野)

竹田絵里奈(1年・沖郷)

バレーボール部

予選リーグ

九里学園 2対0 小国高校

九里学園 0対2 米沢商業

決勝トーナメント
九里学園 0対2 長井高校
《出場メンバー》
後藤由佳(3年・梨郷) 戸屋愛子(3年・米5) 菅原あゆみ(3年・白鷹西) 井上奈月(2年・川1) 久保田沙織(2年・米2) 加藤恵(2年・米2) 山田ゆかり(2年・米1) 後藤加奈子(3年・米6) 小林広美(2年・米1) 上地美里(2年・高3) 渡邊鈴奈(2年・米5) 長澤江梨子(2年・米5)

ソフトボール部



準優勝

1回戦 九里 4対0 米沢東
決勝戦 九里 5対6 南陽

《出場メンバー》

猪口佳織(3年・南原) 萬世里美(3年・南原) 吉田美生(3年・高2) 中川樹里(3年・米2) 井澤美紅(2年・米3) 加藤恵子(2年・川1) 萬世知美(2年・南原) 白井まゆ美(2年・米1) 金子舞(2年・米1) 佐藤美和(2年・米2) 丸山尚子(1年・米3) 青野友美(1年・米3) 遠藤美智(1年・米3) 松田香織(1年・米2) 佐藤恭子(1年・米2) 渡部美穂(1年・飯豊) 土屋真理子(1年・米2)

弓道部



男子団体・個人

出場メンバー
近野 靖雄(3年 米1)
伊藤 大輔(3年 南原)
村石 真弥(2年 米2)
大友 鉄郎(3年 宮内)

山王堂 豊(3年 南原)
女子団体・個人
《出場メンバー》
長谷川朋美(3年 米6)
情野 千佳(3年 高4)
高橋沙希子(3年 米1)
渋谷 沙紀(3年 白鷹西)
後藤 千草(2年 米1)
佐藤 有香(2年 米6)
桜井 里美(2年 米1)
情野美智子(2年 米5)
網代 由枝(2年 米2)
堤 翠(2年 米5)
岡崎 望美(2年 南原)
横田 早紀(2年 米5)
鈴木 美嘉(2年 高3)

卓球部



団体戦 優勝

2回戦 九里 3対0 米工
3回戦 九里 3対0 南陽
決勝戦 九里 3対0 米沢東
《出場メンバー》
遠藤 美紀(3年 川西1)
高村美知子(3年 長南)
青木 朋恵(3年 川西1)
佐藤真由美(2年 川西1)
齋藤 希(2年 川西1)
板垣真希子(2年 米2)
荒井 直子(1年 綾瀬中)
ダブルス
優勝 青木 朋恵(2年 川西1)
シングルス
優勝 佐藤真由美(2年 川西1)

準優勝

高村美知子(3年 長南)
青木 朋恵(2年 川西1)
県大会出場者
秋場 祐美(3年 南原)

陸上部



奥村美和子(3年 川西1)
高橋千亜紀(3年 飯豊)
山口真奈美(3年 南原)
片倉 亜弓(1年 川西1)
2位 鈴木 美樹(2年 長南)
3位 中村 瑞穂(1年 米7)
400m R
1位 酒井・山内・横野・堀江
1600m R
1位 須藤・山内・後藤・堀江
走幅跳
1位 堀江 真由(3年 米1)
3位 後藤 美佳(3年 飯豊)
5位 酒井 珠美(3年 小国)
砲丸投
1位 高橋ちひろ(3年 叶水)
2位 平 江里子(2年 川2)
3位 長岡 里美(3年 飯豊)
円盤投
1位 高橋ちひろ(3年 叶水)
2位 平 江里子(2年 川2)
3位 桑原 恵(3年 米2)
やり投
1位 高橋ちひろ(3年 叶水)
2位 佐藤 歩美(3年 川西)
3位 平 江里子(2年 川2)
男子
砲丸投
3位 加藤 正敏(1年 米3)
円盤投
6位 加藤 正敏(1年 米3)
女子団体
フィールド
1位 55点
トラック
1位 133点
総合
1位 188点

剣道部



女子団体

予選リーグ 3位
《出場メンバー》
安部ひろみ(3年 上郷)

山形県高等学校 総合体育大会

女子テニス部



団体 3位
出場メンバー

- 情野 朋美 (1年 米5)
- 佐藤 まや (3年 米2)
- 安部 園子 (3年 米5)
- 高橋 宏美 (3年 高4)

シングルス

- 3位 情野 朋美 (1年 米5)
- ベスト16 佐藤 まや (3年 米2)
- ダブルス ベスト8

- 情野 朋美 (1年 米5)
- 佐藤 まや (3年 米2)

男子テニス部



団体 ベスト8

- 1回戦 九里 2対1 酒田東
- 2回戦 九里 0対2 山形東

出場メンバー

- 遠藤 慎介 (2年 米3)
- 渡部 裕史 (2年 米2)

男子バスケットボール部



1回戦

九里学園 82対99 山形商業

〈出場メンバー〉

- 青柳 侑 (2年 米1)
- 宇野 一穂 (2年 米1)
- 土屋 正輝 (2年 米1)
- 工藤基之 (3年・米3) 鈴木靖広 (3年・米2) 渡辺孝昭 (3年・米3) 安部達也 (3年・米3) 徳永貴 (3年・川1) 島津和志 (3年・高4) 島貫啓 (3年・川1) 島貫伸幸 (3年・米3) 渡部友希 (2年・上郷) 安部雄基 (1年・沖郷) 鈴木健司 (2年・米2) 加藤真和 (1年・米3) 野村俊輔 (1年・米7) 我妻徹朗 (1年・米3) 山田直人 (1年・米5)

女子バスケットボール部



1回戦

九里学園 62対68 山辺高校

〈出場メンバー〉

- 長澤美香子 (3年・米4) 鈴木亜沙美 (3年・高4) 三ヶ山和加奈 (3年・赤湯) 加藤恵美 (3年・吉野) 吉田頼子 (3年・米2) 高橋春菜 (3年・赤湯) 小松真理 (3年・中川) 関千恵子 (3年・赤湯) 佐々木美幸 (2年・漆山) 清水美智子 (2年・赤湯) 長島亜衣 (2年・赤湯) 竹田愛 (1年・高1) 我妻美幸 (1年・高4) 江口あゆみ (1年・吉野) 竹田絵里奈 (1年・沖郷)

ソフトボール部



1回戦

1回戦 遠藤 美紀 (3年 川西1)

九里学園 0対6 山形商業

〈出場メンバー〉

- 猪口佳織 (3年・南原) 萬世里美 (3年・南原) 吉田美生 (3年・高2) 中川樹里 (3年・米2) 井澤美紅 (2年・米3) 加藤恵子 (2年・川1) 萬世知美 (2年・南原) 白井まゆ美 (2年・米1) 金子舞 (2年・米1) 佐藤美和 (2年・米2) 丸山尚子 (1年・米3) 青野友美 (1年・米3) 遠藤美智 (1年・米3) 松田香織 (1年・米2) 佐藤恭子 (1年・米2)

卓球部



団体戦 第3位

1回戦 シード

2回戦

九里学園 3対0 上山明新館

3回戦

九里学園 3対1 寒河江高校

準決勝

九里学園 1対3 谷地高校

〈出場メンバー〉

- 遠藤美紀 (3年・川1) 高村美知子 (3年・長南) 青木朋恵 (2年・川1) 佐藤真由美 (2年・川1) 齋藤希 (2年・川1) 板垣真希子 (2年・米2) 荒井直子 (1年・綾瀬)

ダブルス

3位

佐藤真由美 (2年 川1)

青木 朋恵 (2年 川1) 組

遠藤 美紀 (3年 川1)

高村美知子 (3年 長南) 組

2ペアとも3位で東北大会出場

シングルス

1位 高村美知子 (3年 長井南)

3位 遠藤 美紀 (3年 川西1)

剣道部



東北大会・インターハイ出場

女子団体 予選リーグ敗退

九里学園 0対3 山形商業

九里学園 2対2 北村山高校

九里学園 4対0 上山明新館

〈出場メンバー〉

- 先鋒 安部ひろみ (3年 上郷)
- 次鋒 竹田 寿子 (3年 米5)
- 中堅 長嶋 美奈 (3年 赤湯)
- 副将 郷野 愛 (2年 米1)
- 大将 寒河江智美 (3年 米2)
- 補欠 我妻 里美 (2年 米1)
- 小関 由佳 (2年 南原)

女子個人

3回戦敗退

寒河江智美 (3年 米2)

安部ひろみ (3年 上郷)

長嶋 美奈 (3年 赤湯)

郷野 愛 (2年 米1)

男子個人

星 正大 (3年 米2)

田中 伸 (1年 米7)

バドミントン部



男子団体

1回戦 九里 0対3 山形商業

〈出場メンバー〉

稲葉 尚之 (3年 米2)

新藤 学 (3年 宮内)

菊地 努 (2年 長井北)

足立 隆浩 (3年 米4)

中村 昌平 (3年 米1)

女子団体

1回戦 九里 0対3 城北女子

〈出場メンバー〉

東海枝妙子 (3年 長井南)

江部 智美 (3年 米5)

鹿間 幸枝(2年 米2)
鈴木 博子(2年 米6)
山口美百子(1年 米3)
女子ダブルス ベスト8
山口美百子(1年 米3)
鹿間 幸恵(2年 米2)
女子シングルス
第2位
山口美百子(1年 米3)
東北大会・インタールハイ出場

陸上部



100m
1位 堀江 真由(3年 米1)
東北大会出場

200m
1位 堀江 真由(3年 米1)
東北大会出場

5位 横野 友紀(2年 米1)
東北大会出場

400m
3位 山内 愛(2年 米4)
東北大会出場

6位 須藤 美幸(3年 赤湯)
東北大会出場

800m
2位 小杉 奈美(3年 長井南)
東北大会出場

1500m
5位 小杉 奈美(3年 長井南)
東北大会出場

8位 高橋真都香(2年 米3)
3000m
3位 小杉 奈美(3年 長井南)
東北大会出場

100mH
3位 山内 愛(2年 米4)
東北大会出場

6位 須藤 美幸(3年 赤湯)
東北大会出場

400mH
2位 須藤 美幸(3年 赤湯)
東北大会出場

5位 古川 裕子(3年 飯豊)
東北大会出場

3000mW
3位 長澤 由美(2年 米1)
東北大会出場

走幅跳

砲丸投

円盤投

ヤリ投

混成競技

6位

10位

2位

酒井 珠美(2年 小国)

山内 愛(2年 米4)

横野 友紀(2年 米1)

堀江 真由(3年 米1)

1600m

東北大会出場

佐藤 歩美(3年 川1)

高橋ちひろ(3年 叶水)

桑原 恵(3年 米2)

東北大会出場

佐藤 歩美(3年 川1)

ハンドボール部



1位 須藤 美幸(3年 赤湯)
山内 愛(2年 米4)
後藤 美佳(3年 飯豊)
堀江 真由(3年 米1)
東北大会出場

出場選手

1回戦
九里学園 5対26 山本学園

加藤ひとみ(2年・米3) 加藤亜紀(2年・米5) 伊藤沙弥香(2年・米3) 海野薫(2年・米5) 山口明子(2年・米2) 高橋千佳(2年・中津川) 大森翠(2年・米3) 山本友梨子(2年・米3) 八巻明日香(1年・米4) 伊藤七奈子(1年・米4) 井上幸恵(1年・米4) 赤木幸枝(2年・米2) 佐藤智美(1年・高3) 安澤恵江(1年・米1) 長沢景子(1年・米1)

バレーボール部



ベスト16
2回戦
九里学園 2対0 北村山高校

3回戦
九里学園 0対2 日大山形

〈出場メンバー〉
後藤由佳(3年・梨郷) 戸屋愛子(3年・米5) 菅原あゆみ(3年・白鷹西) 井上奈月(2年・川1) 久保田沙織(2年・米2) 加藤恵(2年・米2) 山田ゆかり(2年・米1) 後藤加奈子(3年・米6) 小林広美(2年・米1) 上地美里(2年・高3) 渡邊鈴奈(2年・米5) 長澤江梨子(2年・米5)

東北高等学校総合体育大会 陸上競技大会

200m
6位 堀江 真由(3年 米1)
1500m
5位 小杉 奈美(3年 長南)
400mH
6位 須藤 美幸(3年 赤湯)

砲丸投
6位 高橋ちひろ(3年 叶水)
400mR
6位 酒井 珠美(2年 小国)

6位 山内 愛(2年 米4)
横野 友紀(2年 米1)
堀江 真由(3年 米1)

1600mR
7位 須藤 美幸(3年 赤湯)
山内 愛(2年 米4)
後藤 美佳(3年 飯豊)
堀江 真由(3年 米1)

第30回 東北高等学校 バドミントン選手権大会

女子個人戦シングルス
1回戦
山口美百子(1年 米2)
2対0
福吉 恵(帝京女積高校) 《福島》

2回戦
山口美百子(1年 米2)
0対2
千葉孝美(前橋高校) 《岩手》

国民体育大会 地区予選会

陸上部

A(2年、3年)の部

100M

- 1位 堀江 真由(3年) 米1
- 3位 横野 友紀(2年) 玉庭
- 4位 酒井 珠美(2年) 小国
- 5位 後藤 美佳(3年) 飯豊

400M

- 1位 堀江 真由(3年) 米1
- 2位 須藤 美幸(3年) 赤湯
- 4位 横野 友紀(2年) 玉庭
- 5位 古川 裕子(3年) 飯豊

1500M

- 1位 高橋真都香(2年) 米3
- 2位 佐藤 美穂(3年) 飯豊
- 推薦 小杉 奈美(3年) 長南

100MH

- 1位 山内 愛(2年) 米4
- 3位 佐藤 歩美(3年) 川1

400MH

- 1位 須藤 美幸(3年) 赤湯
- 2位 山内 愛(2年) 米4
- 3位 古川 裕子(3年) 飯豊

三段跳

- 2位 酒井 珠美(2年) 小国
- 3位 後藤 美佳(3年) 飯豊

砲丸投

- 1位 高橋ちひろ(3年) 叶水
- 2位 平 江里子(2年) 川2
- 3位 長岡 里美(2年) 飯豊
- 4位 桑原 恵(3年) 米2

B(1年生)の部

100M

- 4位 甘粕久美子(1年) 米1

- 1位 沼澤 美和(1年) 白鷹東
- 砲丸投 3位 小松 恵(1年) 沖郷
- 100MH 3位 甘粕久美子(1年) 米1
- 5位 鈴木 久子(1年) 上山南

A・B共通

3000M

- 1位 佐藤 美穂(3年) 飯豊
- 2位 高橋真都香(2年) 米3
- 3位 沼澤 美和(1年) 白鷹東
- 推薦 小杉 奈美(3年) 長井南

走高跳

- 1位 後藤 希(1年) 白鷹西

槍投

- 1位 佐藤 歩美(3年) 川1
- 2位 高橋ちひろ(3年) 叶水
- 3位 平 江里子(2年) 川2

3000MW

- 1位 長澤 由美(2年) 米1
- 2位 鈴木 美樹(2年) 長南
- 3位 中村 瑞穂(1年) 米7
- 5位 大宮 祥子(1年) 米3

ソフトボール部

優勝

- 2回戦 九里 6対1 米沢東
- 3回戦 九里 3対2 南陽

(出場選手)

- 吉田美生(3年・高2) 中川樹里(3年・米2) 加藤恵子(2年・川1) 井澤美紅(2年・米3) 萬世知美(2年・南原) 白井まゆ美(2年・米1) 金子舞(2年・米1) 佐藤美和(2年・米2) 遠藤美智(1年・米3) 丸山尚子(1年・米3) 青野友美(1年・米3) 佐藤恭子(1年・米2) 松田香織(1年・米2)

卓球部

個人

- 1位 荒井 直子(1年) 綾瀬
- 2位 齋藤 希(2年) 川1
- 3位 佐藤真由美(2年) 川1
- 3位 板垣真希子(2年) 米2
- 推薦 高村美知子(3年) 長南
- 遠藤 美紀(3年) 川1
- 青木 朋恵(2年) 川1

計10名 県大会出場

バドミントン部

男子シングルス

- 3回戦 大類 0-2 高橋(米東)
- 中村 2-0 五十嵐(米商)
- 足立 1-2 高橋(米東)

- 4回戦 中村 0-2 林(興譲館)
- 代表決定戦 大類 0-2 松木(長高)
- 大類 0-2 五十嵐(米商)
- 足立 2-1 竹田(長工)

県大会出場

- 中村 昌平(3年) 米1
- 足立 隆浩(3年) 米4

男子ダブルス

- 3回戦 足立・中村 2-1 五十嵐・松本(米商)
- 準決勝 足立・中村 1-2 梅津・金子(米東)
- 代表決定戦 手塚・菊地 0-2 中村・上村(南陽)

県大会出場

- 中村昌平(3年) 米1
- 足立隆浩(3年) 米4 組

少年女子シングルス

- 4回戦 山口 2-0 山口(興譲館)
- 鹿間 1-2 佐藤(米商)
- 準決勝 鈴木 0-2 高橋(米沢東)
- 山口 2-0 安部(荒砥)

決勝 山口 2-0 高橋(米東)

優勝 山口美百子

- 県大会出場 鈴木 博子(2年・米6)
- 鹿間 幸恵(2年・米2)
- 山口美百子(1年・米3)

女子ダブルス

- 準決勝 鹿間・山口 2-0 伊藤・渡部(米東)
- 決勝戦 鹿間・山口 2-0 佐藤・色麻(興譲館)

代表決定戦

- 佐藤(明)・高橋 2-0 梅津・梅村(南陽)
- 東海枝・江部 0-2 渋谷・島貫(南陽)
- 佐藤(明)・高橋 0-2 菅原・白田(荒砥)

県大会出場

- 山口美百子・鹿間幸恵組
- 鈴木博子・佐藤はるか組

国民体育大会 県予選会

ソフトボール部



〈出場選手〉

1 回戦 九里 2 対 3 山形学院

吉田美生(3年・高2) 中川樹里(3年・米2) 加藤恵子(2年・川1) 井澤美紅(2年・米3) 萬世知美(2年・南原) 白井まゆ美(2年・米1) 金子舞(2年・米1) 佐藤美和(2年・米2) 遠藤美智(1年・米3) 丸山尚子(1年・米3) 青野友美(1年・米3) 佐藤恭子(1年・米2) 松田香織(1年・米2)

バドミントン部



シングルス

山口美百子(1年 米3) 2位

準々決勝

山口 2-1 斉藤(城北)

準決勝

山口 2-0 松田(城北)

決勝

山口 1-2 山口(城北)

他 出場者

女子シングルス

鹿間 幸恵(2年 米2)

鈴木 博子(2年 米6)

女子ダブルス

鈴木 博子(2年 米6)

佐藤はるか(2年 米2) ペア

山口美百子(1年 米3) ペア

鹿間 幸恵(2年 米2) ペア

男子シングルス

中村 昌平(3年 米1)

足立 隆浩(3年 米4)
男子ダブルス
中村 昌平(3年 米1)
足立 隆浩(3年 米4) ペア

剣道部



1 回戦

九里学園 4 対 1 新庄南

2 回戦

九里学園 1 対 2 山本学園

ハンドボール部



九里学園 11 対 15 上山明新館

〈出場選手〉

加藤ひとみ(2年・米3) 加藤亜紀(2年・米5) 伊藤沙弥香(2年・米3) 海野薫(2年・米5) 山口明子(2年・米2) 高橋千佳(2年・中津川) 大森翠(2年・米3) 山本友梨子(2年・米3) 八巻明日香(1年・米4) 伊藤七奈子(1年・米4) 井上幸恵(1年・米4) 佐藤智美(1年・高3) 安澤恵江(1年・米1) 長沢景子(1年・米1)

東北総合体育大会

陸上部



100m

6位 堀江 真由(3年 米1)

200m

5位 堀江 真由(3年 米1)

800m

4位 小杉 奈美(3年 長南)

1500m

6位 小杉 奈美(3年 長南)

5000W
15位 長澤 由美(2年 米1)
走幅跳
8位 堀江 真由(3年 米1)
砲丸投
6位 高橋ちひろ(3年 叶水)

1600mR

6位 須藤 美幸(3年 赤湯)

山内 愛(2年 米4)

後藤 美佳(3年 飯豊)

堀江 真由(3年 米1)

第48回 春季東北地区高等学校 野球山形大会置賜地区予選

1 次予選

九里学園 0 対 17 米沢商業

2 次予選

1 回戦 九里学園 13 対 3 小国高校

2 回戦 九里学園 8 対 7 長井工業

代表決定戦 九里学園 7 対 0 高島高校

決勝 九里学園 1 対 11 米沢中央

第48回 春季東北地区高等 学校野球山形大会

九里学園 対 東根工業

(6-7X)

延長11回 サヨナラ負け

県陸上選手権大会

陸上部



100m

2位 堀江 真由(3年 米1)

7位 酒井 珠美(2年 小国)
200m
1位 堀江 真由(3年 米1)
5位 横野 友紀(2年 玉庭)

800m

2位 小杉 奈美(3年 長井南)

4位 高橋真都香(2年 米3)

5位 佐藤 美穂(3年 飯豊)

1500m

3位 小杉 奈美(3年 長井南)

11位 高橋真都香(2年 米3)

13位 佐藤 美穂(3年 飯豊中)

100mH

5位 山内 愛(2年 米4)

8位 須藤 美幸(3年 赤湯)

400mH

3位 山内 愛(2年 米4)

4位 須藤 美幸(3年 赤湯)

6位 古川 裕子(3年 飯豊)

走幅跳

3位 堀江 真由(3年 米1)

円盤投

2位 高橋ちひろ(3年 叶水)

3位 桑原 恵(3年 米2)

4位 長岡 里美(3年 飯豊)

やり投

1位 佐藤 歩美(3年 川西1)

2位 平 江里子(2年 川西2)

4位 高橋ちひろ(3年 叶水)

砲丸投

1位 高橋ちひろ(3年 叶水)

2位 平 江里子(2年 川西2)

4位 長岡 里美(3年 飯豊)

400mR

1位 酒井 珠美(2年 小国)

山内 愛(2年 米4)

横野 友紀(2年 玉庭)

堀江 真由(3年 米1)

1600mR

2位 須藤 美幸(3年 赤湯)

山内 愛(2年 米4)

後藤 美佳 (3年 飯豊)
堀江 真由 (3年 米1)
5000mW
3位 長沢 由美 (2年 米1)
6位 鈴木 美樹 (2年 長井南)

山形県ジュニア選手権大会

男子テニス部

U-16 (シングルス)
遠藤 慎介 (2年 米3)
6位の為 東北大会出場

山形県オープンテニス鶴岡大会

女子テニス部

シングルス
1位 情野 朋美 (1年 米5)
2位 佐藤 まや (3年 米2)
ダブルス
1位 情野 朋美 (1年 米5)
佐藤 まや (3年 米2)
ペア
2位 高橋 宏美 (3年 高4)
安部 園子 (3年 米5)
ペア

全日本テニス選手権山形県予選

女子テニス部

ベスト8 情野 朋美 (1年 米5)

山形県ジュニアテニス選手権大会

女子テニス部

U-16
1位 情野 朋美 (1年 米5)

佐藤忠三郎山形県剣道大会

剣道部

女子個人戦
3位 郷野 愛 (2年 米1)

文化部

美術部

第52回記念
『置賜地区 高等学校美術展』
『置賜地区高等学校美術展賞』
『ママ』 油井衣世 (3年 米1) (最高賞)

演劇部

『奨励賞』
『時空』 加藤光恵 (2年 川西1)
『奨励賞』
『進化論』 後藤恵美 (2年 飯豊)

第27回定期公演
「DOLL GIRL」

置賜地区高等学校演劇連盟合同発表会
優秀賞 (県大会出場)

スタッフ

佐久間 萌 (3年) 松本愛美 (2年)
栗山恵美子 (3年) 相澤朋 (2年)
米原郁子 (2年) 渡邊真理 (2年)
神野 優 (2年) 遠藤智洋 (1年)
渋谷潤一 (1年) 高橋徳至 (1年)
石井かおり (2年) 遠藤康秀 (1年)
古瀬桃子 (2年) 横山亜沙子 (2年)
佐藤清和 (1年) 渡部 優 (2年)
加地恵利子 (1年) 黄木千春 (2年)
鈴木陽子 (2年) 情野妙子 (2年)
大橋枝里子 (2年)

全日本吹奏楽コンクール山形県大会置賜地区大会

優秀賞—県大会出場

加藤 雅子 (3年 米3)
益田 道生 (3年 米2)
須貝 浩美 (3年 川1)
三瓶 智美 (3年 赤湯)
高石 麗香 (3年 米1)
加藤 聖美 (3年 米3)
五十嵐香織 (3年 飯豊)
工藤 智未 (2年 米1)
行方 美保 (2年 米1)
渡邊 舞子 (2年 米5)
小林 恵子 (2年 米4)
荒井さと子 (2年 米1)
後藤 幸恵 (2年 米4)
野部 浩史 (2年 米3)
赤木由美子 (1年 米3)
後藤美由紀 (1年 米3)
渡部 美穂 (1年 飯豊)
石川 陽子 (1年 米1)
渡部 優美 (1年 川2)
嶋貫 恵里 (1年 米1)
佐藤 直美 (1年 米4)
安田 実穂 (1年 米1)

須貝麻衣子 (1年 川1)
安部 年恵 (1年 米7)
山形県大会 (H13.7.31) 銀賞
山形県民会館 地区大会に同じ



〈速報〉

置賜地区秋季総合体育大会

ソフトボール部

第2代表として県大会出場
代表決定戦
九里学園 9対5 南陽高校

卓球部

団体 1位
決勝 九里学園 3対0 米沢東
個人
1位 佐藤真由美

男子バスケットボール部

2 回戦敗退

- 2位 青木 朋恵
- 3位 齋藤 希

バレーボール部

県大会出場決定戦

九里学園 0対2 米沢商業

弓道部

- 女子個人戦 桜井里美 6位
- 男子個人・男女団体 入賞なし

男子テニス部

団体優勝 シングルス

- 優勝 遠藤 慎介
- 2位 渡辺 裕史
- 3位 土屋正輝・鈴木雄大

女子テニス部

団体優勝 シングルス

- 1位 情野 朋美
- 2位 加藤 礼子
- ダブルス
- 1位 情野朋美・加藤礼子 組
- 2位 南 尚美・寺島智美 組

女子バスケットボール部

準優勝 決勝 九里学園 62対102 米沢商業

サッカー部

準々決勝 九里学園 対 長井工業

PK (4 | 5)

水泳部

100m 自由形

- 1位 菅原雪華 2位 板垣ゆき
- 4位 安部奈緒美
- 50m 自由形
- 1位 菅原雪華 2位 板垣ゆき
- 4位 安部奈緒美

剣道部

女子団体 予選リーグ敗退 個人戦 上位入賞なし

バドミントン部

女子団体 優勝 女子シングルス

- 優勝 山口美百子
- 2位 鹿間 幸恵
- 県大会出場
- 鈴木博子・佐藤明菜 組
- 女子ダブルス
- 優勝 鹿間幸恵・山口美百子 組
- 県大会出場
- 鈴木博子・佐藤はるか 組

陸上部

女子

- 100m 2位 3位
- 県大会出場(横野友紀・酒井珠美)
- 200m 2位
- 県大会出場(横野友紀)
- 400m 3位
- 県大会出場(甘粕久美子)
- 800m

- 県大会出場 1位・2位・3位
- (高橋真都香・沼澤美和・鈴木美樹)
- 1500m
- 県大会出場 1位・2位・3位
- (長澤由美・高橋真都香・中村瑞穂)
- 3000m 1位 3位
- 県大会出場(沼澤美和・大宮祥子)
- 100mH 1位 6位
- 県大会出場(山内 愛・鈴木久子)
- 400mH
- 県大会出場 1位・2位・3位
- (山内 愛・甘粕久美子・鈴木久子)
- 3000mW
- 県大会出場 1位・2位・3位
- (長澤由美・中村瑞穂・鈴木美樹)
- 4000mR
- 優勝
- 県大会出場(酒井珠美・横野友紀・甘粕久美子・山内 愛)
- 1600mR
- 優勝
- 県大会出場(酒井珠美・甘粕久美子・高橋真都香・山内 愛)
- 走幅跳 2位
- 県大会出場(酒井珠美)
- 砲丸投 県大会出場(平江理子) 1位
- 円盤投 県大会出場(小松 恵) 1位
- やり投 県大会出場 1位・3位
- (平 江理子・小松 恵)
- 女子 総合 優勝
- トラック 優勝
- フィールド 優勝
- 男子 円盤投 県大会出場(加藤正敏) 2位
- 砲丸投 県大会出場(加藤正敏) 2位
- 男子 総合 6位
- フィールド 3位

山形県高等学校新人大会

陸上部

- 女子 200m 4位

- 東北大会出場(横野友紀)
- 3000m 5位
- 東北大会出場(沼澤美和)
- 1000mH 2位
- 東北大会出場(山内 愛)
- 400mH 1位
- 東北大会出場(山内 愛)
- 400mR
- 優勝 東北大会出場
- (酒井珠美・横野友紀・甘粕久美子・山内 愛)
- 1600mR
- 東北大会出場 3位
- (酒井珠美・甘粕久美子・高橋真都香・山内 愛)
- 砲丸投 1位
- 東北大会出場(平 江理子)
- やり投 1位
- 東北大会出場(平 江理子)
- 3000mW
- 東北大会出場 2位・3位・4位
- (長澤由美・中村瑞穂・鈴木美樹)

水泳部

- 100M 自由形
- 7位 菅原 雪華
- 50M 自由形
- 6位 菅原 雪華

ソフトボール部

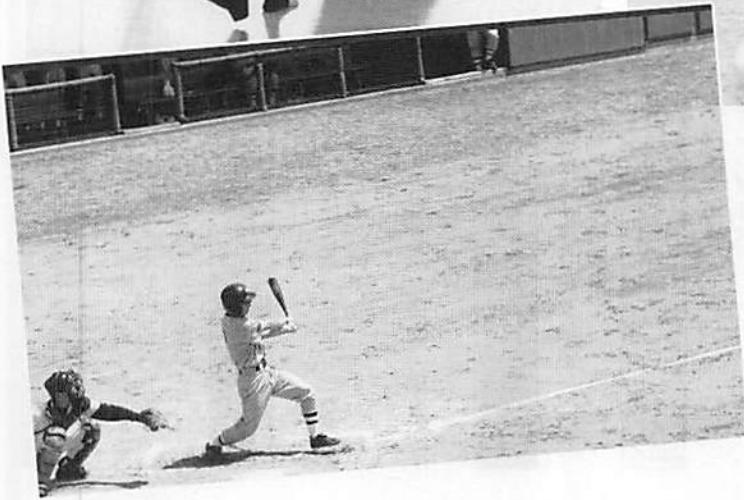
- 第3位
- 1回戦 九里 5対1 東海大山形
- 2回戦 九里 3対2 山形商業
- 3回戦 九里 3対8 上山明新館

男子テニス部

男子団体 ベスト8

女子テニス部

女子団体 ベスト8



九里学園高等学校体育文化活動後援会 会 員 募 集

本会は九里学園高等学校における教育活動の中で重要な位置を占める
体育・文化の部活動を、経済的に援助をする会です。
会費は次の通りです。

- 特別会員
年会費 一〇三、〇〇〇円
(口数は問わず)
- 法人会費
年会費 一〇一〇、〇〇〇円
(口数は問わず)

新規会員を募集しております。
御問い合わせは後援会事務局まで一報下さい。(担当・吉田)



■発行

九里学園高等学校部活動後援会

事務局 米沢市門東町1-1-72
九里学園高等学校内
TEL. 0238-22-0091
FAX. 0238-22-0092